投稿規程

1．本誌の目的

本誌は，公益社団法人長崎県理学療法士協会の機関誌として理学療法および関連領域における実践報告と研究発表の場を提供することで

（1）長崎県の理学療法を発展させる

（2）理学療法士の卒後継続教育に資する教育的な論文を掲載する。

ことを主な目的とする。

2．投稿資格

筆頭著者又は投稿者は本会の会員であることを原則とする。ただし，本会に寄与する論文であると学術誌班が認めた場合はこの限りではない。本誌への投稿は原則として本会の会員ならびに会員を含むグループとする。また，下記の投稿記事のうち総説に関してはこの限りではない。著者資格については註1および執筆規程を参照すること。

3．記事の種類

（1）研究論文（原著）：新規性および独創性があり，明確な結論を示した論文。

（2）症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い，考察を行った論文。

（3）短報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。

（4）その他：システマティックレビュー，症例報告，実践報告，調査報告など学術誌班が掲載を適切と判断した論文および記事。（なお，症例報告とは症例の治療および経過などについて論理的に提示し，考察を行ったもの。実践報告とは，理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で，新たな工夫や介入，結果等について具体的かつ客観的に情報提示し，その内容が有益と判断されたもの）

4．投稿原稿の条件

投稿原稿は，他誌に発表，または投稿中の原稿でないこと。本規程および執筆規程にしたがって作成すること。

5．投稿承諾書

著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため，別紙の投稿承諾書に自筆による署名をして提出すること。

6．利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料，株式保有，寄付金，特許など）がある場合は本文中に記載すること。なお，利益相反に関しては日本理学療法士学会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること。

7．著作権

本誌に掲載された論文の著作権は，長崎県理学療法士協会に属する。また，本誌に掲載された論文はオンライン公開される。

8．研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針（註2）に基づき対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

Presented by Medical*Online

また，研究論文においては，所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ることを必須とし，倫理審査委員会名および承認番号（または承認年月日）を必ず記載すること。なお，倫理審査委員会より承認の非該当となった場合には，その旨を記載する。

9．原稿の採択

原稿の採否は複数の査読者の意見を参考に学術誌班において決定する。査読の結果，編集方針にしたがって原稿の修正を求めることがある。修正を求められた場合は２ヵ月以内に修正稿を再提出すること。提出期限を超過した場合は新規投稿論文として扱われる。また，必要に応じて学術誌班の責任において字句の訂正を行うことがある。

10. 校正

著者校正は原則として１回とし，誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認めない。

11. 掲載に関する費用

規定の分量の範囲内までは無料掲載するが，超過した場合は超過分に要した実費を徴収する場合がある。カラー掲載は実費負担とする。

また，理学療法士の免許を有する日本理学療法士協会の非会員の投稿には審査料と掲載料を徴収する。詳細は別紙に定める。なお，本会会員権利が停止している会員の投稿についても同様に審査料と掲載料を徴収する。

12. 原稿送付先および連絡先

下記連絡先まで提出の意思および提出先を確認の上，長崎県理学療法士協会が定める「執筆規定」に準じ作成した原稿をメール添付にて送付すること。返信メールを持って受理とする。また，図表については１図表１ファイル作成し添付すること。

郵送の場合は必ず３部（２部はコピーで可，またそのうち２部は氏名，所属をぬいたものとする）を送付すること。提出論文のコピーは必ず手元に保存すること。

連絡・問い合わせ先
〒851－0301
長崎県長崎市深堀町１丁目11-54
長崎記念病院　リハビリテーション部内
公益社団法人長崎県理学療法士協会
教育学術局　学術誌班　柿田徹郎　宛
TEL：095-871-1515
FAX：095-871-1510
E-mail：rigakuryouhougaku@npta.or.jp

註１：国際医学雑誌編集者委員会：生物医学雑誌への投稿のための統一規定
（http://www.toukoukitei.net/i4aURM201004.html）

註２：厚生労働省：研究に関する指針について
（http:// www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html）

Presented by Medical*Online

執筆規程

1．論文の構成

（1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。 なお，30 字以内のランニングタイトル（簡略標題。標題を短くしたもので，標題よりもさらに主題に絞り込んだもの。標題が30字以内であれば同じでもよい）を記載する。

（2）著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。著者資格については統一規定（註１）を参照すること。なお，審査開始後の著者の変更は原則認めない。

（3）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。研究論文（原著），短報以外の 記事の種類の論文においては，著者の判断で項目名を変更してもよい。

（4）キーワード：３つ以内とする。

（5）本文：原著，症例報告，短報については，原則として「はじめに（序論，緒言）」，「対象および方法（症例紹介）」，「結果（成績）」，「考察（分析）」，「結論」，「利益相反」，「謝辞」等の小見出しをつけ，これらの順に構成・記載する。ただし，研究論文（原著），短報以外の記事の種類の論文においては，著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに（序論，緒言）

研究の背景，臨床的意義，研究の目的，取り扱っている主題の範囲，先行研究との関連性の明示などを記述する。

②対象および方法

用いた研究方法について第３者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは，検証，追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。

④考察（分析）

結果の分析・評価，今後の課題，などを記述する。

⑤結論

研究で得られた結論を200～300字で簡潔に記述する。

⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

（6）文献：引用文献のみとする。

2．投稿原稿の構成

投稿原稿の書式は長崎県理学療法士協会ホームページを参照すること。

3．原稿の規程分量

研究論文（原著），症例研究，システマティックレビューは，要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり８頁（400字詰め原稿用紙40枚・16,000字相当）。短報は要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり４頁(400字詰め原稿用紙24枚・9,600字相当)。その他は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり６頁（400字詰め原稿用紙32枚・12,800字相当）。図表は，刷り上がり1/4頁大のもの１個を400字詰め原稿用紙１枚として換算すること。

4．要旨

論文には和文の要旨（400 字程度）をつける。また，研究論文（原著），症例研究および短報には250 語程度の英文要旨をつけること。

Presented by Medical*Online

5．図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に，それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に，表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり，投稿時に許可書を提出すること。図表の説明（キャプション）は図表の後に頁をあらたにして記載すること。

スライド図・表は投稿用としてTIFF形式，PNG形式に作成し直す。解像度については300dpi以上とする。MS-PowerPointファイルで提出の場合は確認を要するため申し出ること。

6．文献

文献は本文中に引用したもの（参考文献は含めない）のみをあげ，本文中に文献番号として肩番号を付記すること。また，著者のアルファベット順または本文の引用順に並べる。文献記載方法については，以下を参考に記載すること

（1）雑誌：著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初－最終）の順に記載し，文献の省略は公の省略法（Index Medicus など）に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を書き，他は「・他」，または「et al.」とし，抄録を引用する場合は最初の著者氏名のみとする。

〔例1〕沖田実，吉村俊朗・他：関節固定がラットヒラメ筋の筋内膜コラーゲン線維網の構築におよぼす影響．理学療法学24：23 - 30，1997.

〔例2〕Okita M, Yoshimura T, et al.: Effects of corticosteroid on muscle fibers and intramuscular connective tissues in mice. J Phys Ther Sci 9 : 99-102, 1997.

（2）書籍：著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，西暦年号，頁を記載する。

〔例1〕千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門．医学書院，東京，1997，pp102 - 104.

〔例2〕Desmedt JE, Godaux E: Progress in Clinical Neurophysiology. (ed., by Desmedt JE), Vol. 8, Karger, Basel, 1980, pp 215-242.

7．数量の単位

単位は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる。長さ：m，質量：kg，時間：s，温度：℃，周波数：Hz 等。

8．略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

9．機器名の記載法

機器名は，「一般名（会社名，製品名）」で表記する。なお，統計ソフトは「製品名，バージョン番号，会社名」とする。

10．その他

（1）必要がない限り表に縦線は使用しないこと。

（2）表・図（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。

（3）本文には行番号およびページ番号を必ず記載する。

11．附則

本規則の改廃は理事会の承認による。

註1：国際医学雑誌編集者委員会：生物医学雑誌への投稿のための統一規定
（http://www.icmje.org/urm_main.html）

Presented by Medical*Online